

# Sports Net

## ちば 2023年9月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2023年9月15日

「スポーツは平和とともに」

新日本スポーツ連盟千葉県連盟

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17

Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454

URL <http://njsf-chiba.perma.jp>

E-mail [njsf1970chiba@gmail.com](mailto:njsf1970chiba@gmail.com)

発行人 園川 峰紀

通巻 253号

卓球全国大会へ男子15チーム(年代別10, 一般5)

女子9チーム(年代別8, 一般1) 個人は男子34人 女子16人

7月15日と16日(土・日)に卓球全国大会団体戦の予選が宮野木スポーツセンター・体育館で開催されました。

翌8月の5日と6日(土・日)には同じく個人戦が開催されました。

例年予選は会場を千葉市ポートアリーナで行われていましたが、今年は会場の確保が困難だったため、卓球台の収容台数が半数以下の宮野木スポーツセンター・体育館で行われました。

会場には冷房も入っておらず、選手の中には体調不良を訴えて棄権する方も出て、卓球協議会役員の皆さんがやきもきする場面もありましたが、何とか無事に大会を終わらせることが出来ました。

昨年の全国大会で、千葉県代表は年代別の団体戦で30代(TRF)、70代(TST)の部で優勝したことから、推薦枠で2チームが出場決定しており、

個人戦では30代の竹之内さん(TRF)、70代の岩下さん(TST)、80代の永田さん(永田スポーツクラブ)が優勝されたことから個人、団体とも例年より多くの方に参加いただけることになりました。(右は出場者)⇒



### 男子団体年代別

| 年代 | チーム名      |    |
|----|-----------|----|
| 30 | 九流里       |    |
| 30 | TRF       | 推薦 |
| 40 | TRF       |    |
| 40 | B a b o y |    |
| 50 | 木更津クラブ    |    |
| 60 | 市原ひまわり    |    |
| 60 | 花野井クラブ    |    |
| 60 | F. C. C.  |    |
| 70 | JUST      |    |
| 70 | TST       | 推薦 |

### 男子団体一般

| チーム名      |
|-----------|
| 043       |
| 松飛台卓球クラブ  |
| A v a     |
| FUN First |
| ガチ会       |

### 女子団体年代別

| 年代 | チーム名   |
|----|--------|
| 30 | 山口企画   |
| 40 | あけび〜ズ  |
| 50 | 杏仁クラブ  |
| 50 | ち〜むM&M |
| 60 | ウェル    |
| 60 | 幸      |
| 60 | 大綱クラブ  |
| 70 | 杏仁クラブ  |

### 女子団体一般

| チーム名   |
|--------|
| PERLAS |

### 男子個人年代別

| 年代 |   | 選手名    |    |
|----|---|--------|----|
| 30 | L | 高橋 瞭   |    |
| 30 | L | 板倉 大介  |    |
| 30 | H | 竹之内 亮佑 | 推薦 |
| 30 | H | 大木 駿輔  |    |
| 30 | H | 松戸 将宗  |    |
| 40 | L | 田村 純一  |    |
| 40 | L | 吉田 鉄也  |    |
| 40 | H | 古市 浩司  |    |
| 40 | H | 春川 陽一  |    |
| 50 | L | 古庄 正明  |    |
| 50 | L | 島倉 康弘  |    |
| 50 | H | 安徳 保   |    |
| 60 | L | 森下 正   |    |
| 60 | L | 岡野 淳一  |    |
| 60 | L | 小林 哲也  |    |
| 60 | L | 金本 啓二  |    |
| 60 | H | 山本 洋一  |    |
| 60 | H | 浦辺 栄   |    |
| 60 | H | 井坂 幸彦  |    |
| 70 | L | 岩下 哲治  | 推薦 |
| 70 | L | 川内 信一郎 |    |
| 70 | L | 菅野 智光  |    |
| 70 | L | 坂村 信春  |    |
| 70 | H | 金澤 昌賢  |    |
| 70 | H | 山口 順   |    |
| 80 | L | 竹村 昭   |    |
| 80 | H | 永田 冬彦  | 推薦 |

### 女子個人年代別

| 年代 |   | 選手名    |
|----|---|--------|
| 30 | L | 小宮 美紀  |
| 40 | H | 高橋 安美  |
| 50 | L | 齋藤 博美  |
| 50 | H | 近藤 晴美  |
| 50 | H | 岩崎 早苗  |
| 60 | L | 渡邊 はるみ |
| 60 | H | 水橋 敦子  |
| 60 | H | 長谷川 泉  |
| 70 | L | 目原 美幸  |
| 70 | L | 砂川 節子  |
| 70 | H | 宮本 知子  |
| 80 | L | 岸田 みゑ子 |
| 80 | H | 小西 順子  |

### 男子個人一般

| 選手名    |
|--------|
| 板倉 大介  |
| 川尻 洸平  |
| 江波戸 正太 |
| 北原 述   |
| 田村 洸大  |
| 竹之内 亮佑 |
| 福田 涼介  |

### 女子個人一般

| 選手名    |
|--------|
| 並木 千智  |
| 野田 優子  |
| 鈴木 千菜実 |

# 新日本スポーツ連盟千葉県連盟主催 2023年 千葉県6人制バレーボール男女優勝大会開催レポート

新日本スポーツ連盟千葉県連盟主催の「2023年 千葉県6人制バレーボール男女優勝大会」が、8月30日（日）に花島運動公園体育館にて開催されました。

今回の大会は、体育館事情もあり9時～17時までの1日大会となり大変タイトなスケジュールのなか、大会関係者や参加チームの協力もあり無事終える事が出来ましたので、皆様にご報告します。

この大会は、全国予選会も兼ねての大会となります。今大会の男女上位3チームが、千葉県バレーボール協議会より、11月18日、19日に行われる全国大会に千葉県代表として推薦されます。

参加チームは、男子が、Andormeda、COMPARE、清球会、Boowz、ROAR、大東鉄金の6チームで3チームA.Bリーグ戦、女子が健友会、松戸ダイヤモンド、GOZILA、千葉ツツの4チームで、トーナメント戦としました。男子の部は、抽選によりAブロックがAndormeda、COMPARE、清球会、BブロックBoowz、ROAR、大東鉄金となり、それぞれのブロックの1位チームと各2位チームの3位決定戦の勝者が、全国大会への推薦となります。



Andormedaの強烈なスパイク！ 止めたか？

各ブロックリーグの優勝を掛け、また全国大会出場権を掛け、いよいよ大会はスタートしま

した。

Aブロックでは、Andormeda対清球会です。共に全国大会出場経験のある強豪チーム同士の初戦となりましたが、すべて僅差のフルセットとなり接戦を制したのはAndormedaでした。

第二試合、初戦を粘り勝ちしたAndormedaが勢いそのままCOMPAREをストレートで破り、早くもAブロック1位を決め全国推薦も決定付けました。

第三試合は、清球会对COMPAREです。

自力に勝る清球会がストレート勝ちし、Aブロック2位となりました。



大東鉄金の強烈なスパイク！ 1勝へのアタック

Bブロックでは、第一試合はBoowz対大東鉄金です。

これも大接戦でのフルセットになりましたが、サーブ力のあるBoowzが勝利しました。

第二試合は、Boowz対ROARです。この試合に勝ち2連勝して1位を決めたいBoowzと古豪ROARとの戦いは試合巧者のROARがストレート勝ちをしました。

また、第三試合のROAR対大東鉄金は、大東鉄金が勝利したことにより、Bブロックは全チームが1勝1敗となり、大会規定により、優勝ROAR、2位 大東鉄金、3位 Boowzとなりました。

なお、Bブロック優勝のROARが諸事情で全

国推薦を辞退したため、Aブロック優勝 Andromeda、2位 清球会、Bブロック2位 大東鉄金の3チームが全国推薦チームとなりました。



Aブロック優勝のAndromeda

女子の部は、優勝候補の健友会が、初戦のGOZILA戦、決勝戦に勝ち上がってきた千葉ッツを共にストレートで破り、危なげなく優勝を勝ち取ることが出来ました。



健友会のスパイク！ 内側の手の更に内側に！

また、1回戦に敗戦したチームで行う3位決定戦では、実力伯仲のなかフルセットでGOZILAが松戸ダイヤモンドを破り、3位となりました。

試合は、どのチームも真剣にボールを追う姿勢や思い切り打つスパイクの躍動感、そしてチーム全員で歓喜する姿には感動すら覚え、県大会に相応しい大会であったことをあらためて皆様に伝えたく思います。

結果は、優勝 健友会、2位 千葉ッツ、3位 GOZILA、4位 松戸ダイヤモンドとなり、上位3チームが全国推薦を受けることとなりました。

各優勝チームの栄誉を称えると共に、推薦を受けた県代表の男女3チームには全国大会での大いなる活躍を期待したいと思います。



女子優勝の健友会（笑顔がまぶしい）

今回の「2023年 千葉県6人制バレーボール男女優勝大会」は、冒頭にも触れましたが、運営の都合で1日8時間の中で大会を行うというタイトな時間設定の中、参加チームの協力により無事に終える事が出来ました。

また、その様な時間の中、精一杯プレイする姿や選手達の笑顔を間近に見て、あらためてスポーツの楽しさ、大切さを感じる事が出来ました。

来期は、大会時間を存分に取ってたくさんのチームの選手が喜ぶ姿を観たいと思います。最後に、今回ご協力頂きました、千葉県連盟各位、大会参加チーム各位へ御礼を述べ大会報告とさせていただきます。

大会運営役員 バレーボール協議会 吉川 明

**クラブ・チームを結ぶ機関誌**

**「スポーツのひろば」を読みませんか**

定価：290円（送料込370円）年単位（3700円）年間10回発行

申込先は下記まで

新日本スポーツ連盟千葉県連盟  
電話：043-287-7353 FAX：043-256-1454  
メール：njsf1970chiba@gmail.com

## 常任理事会報告

8月18日(金)第4回目となる常任理事会を穴川コミュニティセンターで開催しました。

### 経過報告関係

- 7/30 スキー協議会総会  
会計監査を再度実施、役員留任
- 7/30 バレーボール全国大会予選  
(花島公園体育館)
- 8/5-6 卓球大会個人戦(全国大会予選)  
男女 155名(宮野木体育館)

### 協議関係

〈財政状況についてを中心に論議しました〉

- 約21万円でPCを購入することを了承  
実際の購入はリレーマラソンからの入金を待ってから
- 夏季募金19人から145,000円が寄せられる。

- スキー協議会、ウォーキング協議会に会費納入を依頼
- 旅費規程について前回常任理事会提案内容で承認
- 10月21日(土)~22日(日)開催の全国交流ウォークin鎌倉にスキー協議会から6人、卓球協議会から1人、ウォーキング協議会から2人計9人が参加する。
- 一眼レフのデジタルカメラ(EOSkiss:中古)を購入する。大会や各種会議集会での写真撮影に利用。望遠機能が利用できることによるメリットを考慮。
- サッカー協議会が全国の空白対策補助金を申請し、交付してもらえることになった。
- SportsNetちば9月号・10月号の内容について



## スポーツアラカルト

### 「健康寿命を伸ばすために」

2015年にスキー協再建後、多くの人に支えられ楽しくスキーを続けてきました。

気がつくと来年の誕生日で後期高齢者の仲間入りすることになります。これから先も元気にスキーを続けたい。その為にどうしたらよいか調べてみました。

女性の平均寿命は87.45才(2019年)に対し健康寿命は75.38才で12年もの開きがあります。(男性は約8年)健康寿命をいかに延ばすかが課題です。

健康寿命の短縮にはロコモティブシンドロームの関与の可能性が高く、加齢に伴う筋力の低下が関係しています。

健康寿命を伸ばすための3つのポイントとありました。

#### 1. 食生活を見直す



野菜、果物を積極的にとる

たんぱく質を十分に(特に魚)

#### 2. 心と体を健やかに保つ

適度な運動習慣(下肢筋力を)

ストレッチで転ばない体作り

十分な睡眠

#### 3. 健康診断を定期的に受ける

定期的な歯科受診が大切。噛む食べる飲み込むといった口腔機能の衰えは健康寿命に大きく関与する。

少しでも健康寿命を伸ばしたいとこれから心がけようと思います。

県連盟理事(千葉県勤労者スキー協議会会長)

東山 千恵子

## 人物探訪 (No.3)

# 田久保 孝一

千葉県連盟副理事長

丸っこい体形と丸っこい顔でどことなくホンワカした雰囲気漂うこの人。

新日本スポーツ連盟千葉県連盟常任理事として千葉県野球協議会理事長としての肩書をお持ちです。

出身は千葉県船橋市。20代で飲食業を市川市内で開業。当時（1975年ごろ）甲子園で2年連続して千葉県代表（銚子商業・習志野高）が優勝。今年のWBC侍ジャパンの活躍と同じように野球が一大ブームとなっていました。

ご多分にもれず早速仲間を集めてチームを作り、市内の早朝野球に加盟。毎週草野球を楽しんでいました。

その後民医連に職を得て、勤医協野球部に入部。この入部が新スポ連とのそもそもの関わり。当時の野球部監督で後の千葉県野球協小柴晃理事長の後を引き継ぎ現在に至っているそうです。

スポ連常任理事と野球協理事長を受けて今年でちょうど10年目。

中学/高校時代は柔道一直線。専門的な野球経験はないので正確なジャッジを必要とする審判は遠慮していますとのこと。でも同氏の温厚な性格だと意外と揉め事もうまく収まるのでは・・・



前列中央が田久保さん（勤医協）

今まで一番印象に残る思い出は？との問いには、第51回全国軟式野球全国大会（2017年秋開催）を関東ブロック主管・千葉県での開催に携

わったこと。会場確保、全国役員・審判部の宿泊ホテルの確保、球場移動のバス配車等…難題山積ながらも無事開催。全国規模の大会を千葉県で開催できた喜びを感じたそうです。

スポーツをしたいが仕事に追われて参加できない、施設が確保できない等の理由でスポーツから遠ざかる若者が増えている現実。スポーツ基本法に則り「誰もが平等にスポーツを楽しむようになればいいな」とのコメント。同氏の優しい性格を彷彿させる一言でした。



ライブハウスで演奏する田久保さん

人は見かけによらないもの。田久保さんの趣味の一つにJAZZ演奏があります。

今でも時折、都内や千葉市内のライブハウスで、はたまた市内の老人保健福祉施設などで演奏する機会があるとか？

皆さんもきっとどこかであの人なっっこい笑顔にお会いできる

ことがあるかもしれません。

最近目立つ「新しい戦前」の動き（1945年の夏に戦争は終わったはずなのにまた繰り返そうとする世の中の雰囲気）に対して心を痛めているとのこと。

平和を愛してやまない同氏の優しい心根が伝わってくるようでした。

（文責 園川）

## 登場人物を推薦してください

6月号から新たに登場した「人物探訪」ですが、皆さんのお近くの方をご紹介いただけませんか。もちろんご本人でもOKです。

インタビューを中心に原稿化しますので、ご自身で書くことはありません。

# SPORTS CALENDAR

## 9月

9月 9日 (土) 野球トーナメント戦キャプテン会議  
9月10日 (日) テニス協議会関東ブロック混合D  
9月17日 (日) テニス男子D3ペアチーム対抗  
9月18日 (月・祝) ミックスバレーボール夏季大会  
野球トーナメント戦開幕 (古市場)  
9月23日 (土・祝) テニス全国大会予選 男女S  
9月30日 (土) 卓球ダブルス大会 (花島公園体育館)  
テニス女子D3ペアチーム対抗

9月11日 (月) スキー全国競技会実行委員会 (第2回)  
9月14日 (木) 県連盟四役会議  
9月19日 (火) 全国スキー協議会競技部会  
9月22日 (金) 県連盟常任理事会

## 10月

10月 1日 (日) テニス協議会千葉県スポーツ祭典男子D  
10月 9日 (月・祝) テニス協男子S55歳以上、女子S  
10月15日 (日) テニス協議会女子D (会長杯)  
10月21日 (土) テニス協議会年齢別男女D  
10月29日 (日) 野球トーナメント戦 (宮野木)

10月12日 (木) 県連盟四役会議  
10月20日 (金) 県連盟常任理事会  
10月21日 (土) ~22日 (日) 全国交流ウォークin鎌倉

## サッカー女子ワールドカップ ~~もう一つの戦い~~

スペインの初優勝で幕を閉じた今年的女子サッカーワールドカップ大会 (オーストラリア・ニュージーランドによる2国開催)。

2年振りにベスト4入りを目指したもののベスト8で敗退した日本、アフリカ勢の躍進、どの地域も力をつけてきている等話題に尽きない大会でした。

長年男子のスポーツとされてきたサッカーが、女子の世界でも発展させるために関係者が地道に続けてきた努力が実を結んだともいえると思います。

日本女子も2011年の初優勝したメンバーとは様変わり。外国のクラブで活躍する若い選手のはつらつとした動きに目を奪われた方も多くいる事でしょう。

一方、その裏には、祖国を追われ自由をなくし、試合にも参加できない「もう一つの戦い」があることを忘れてはなりません。アフリガニスタン女子代表がそれです。

2020年8月、タリバンの政権復帰が原因。以前同政権が政権にあった際に行っていた弾

圧政策を恐れ選手たちはすぐに出国。

現在はオーストラリアで働きながら受け入れ先のクラブでサッカーを続けているといえます。

タリバン政権は、イスラム教の教義に則り「肌を露出するから」と「スポーツは許さない」「公園にも入れない」「女子教育も小学校まで」と徹底的に女性の権利を封じ込め差別しています。国連も非難決議を上げ、国際刑事裁判所も動いています。さらに本国のサッカー連盟が政権に忖度し、彼女たちを代表と認めず国際サッカー連盟 (FIFA) も追認しています。

代表として世界の舞台でプレーすることは本国で苦しんでいる無数の女性に生きる希望となることは疑いありません。

彼女たちの戦い～「もう一つの戦い」～を実現することで同国の女性差別政策を世界に認知させ、包囲する力にもつながると思います。世界の舞台で彼女たちが躍動する姿が近い将来訪れる日を期待したいと思います。



理事長の独り言